

相談支援つうしん

<第100号>2024年6月11日
県立湘南支援学校 支援連携グループ
相談支援班 ~教師編~

今回は、支援グッズの紹介や中学部で取り組んでいる支援、パンフレットの紹介をします！支援グッズは職員室前の廊下の棚に入っていますので、「いいかも！」というものがあったら、ぜひ使ってみてください。

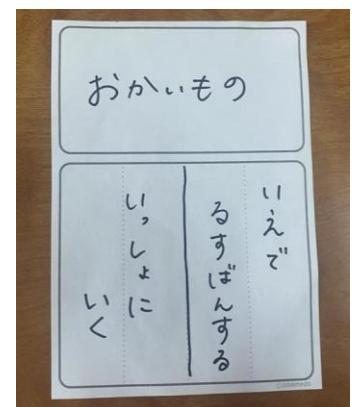
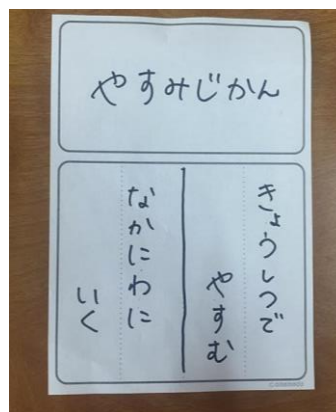
★紹介するものはすべて「おめめどう」の出版物のため、コピーは禁止です。
ケースに入っているものをお使いください。

○えらぶメモ

「○○と△△、どっちがいい？」と子どもたちに尋ねた時、必ず最後に言った方を選んでいるな、と感じたり、「どうしたい？」というオープンクエスチョンへの返答に困っている様子が見られたりしたことはありませんか？

音声の言語は、消えてしまうため、最初の言葉や終わりの言葉に反応したりと、はっきりしたことがお互いに分かりません。そのため、「見える化」して子どもたちに選んでもらうためのグッズが「えらぶメモ」です。

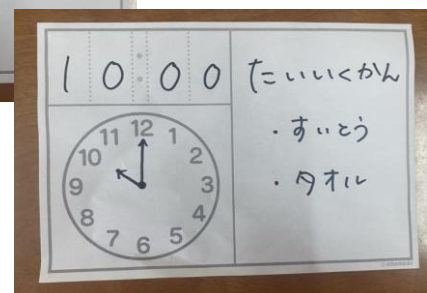
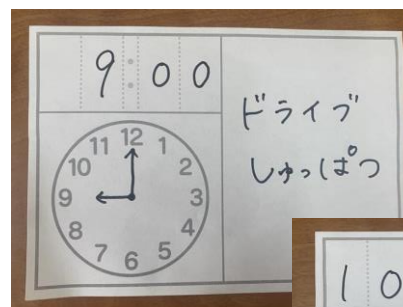
「する・しない」「イエス・ノー」はもちろん、いつも「する」を選んでしまうような時には、「○○しますか？・△△しますか？」と具体的に問いかけてみることもポイントです！



○とけいメモ

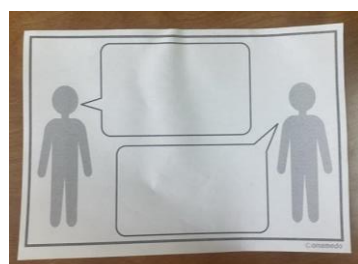
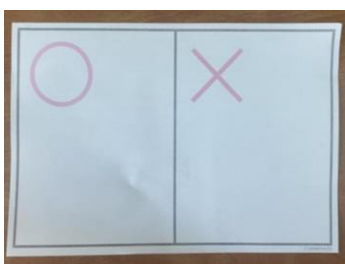
空いているスペースに、「何をするのか（何が始まるのか）」を絵や文字で書きます。タイマーを導入する時と同じように、使い始めは、本人にとって楽しみなことからはめると◎です。繋げると1日のスケジュールとしても使用できます！

休日や長期休みなど、学校とは違って毎日違うスケジュールになる時に使用することもオススメです。



他にも…

○×メモ、おはなしツイン、などたくさんあります。一度見てみてください♪



使い方・使用例も同じ棚に入っています！

○グッドポイント（中学部の実践より）

日常生活の指導では、児童生徒のことを褒めるよりも指導する場面が多くなりがちではないですか？積極的・意図的に褒める場面をつくり、「がんばったね」「できたね」「ありがとう」を言葉とサムアップで褒めることで、児童生徒のやる気を引き出すのがこの【グッドポイント】です。

まず同じ表を2枚用意します。（写真①）1つは机など児童生徒の側に置きます。もう一つは黒板など、他の人にも見える場所に置きます。見える場所に置く理由は、窓口担当以外の教員にも褒めてもらいやすくするためです。見える場所のみもできます。（写真②）

写真①



写真②



次に、目標や仕事が達成されたら教員と確認してから、『グッジョブ』マークをできた項目に貼ります。

1日完結型で帰りの会の前に振り返りをして評価をします。

★ポイント（☆応用）

★始めは係の仕事など、既にできていることも項目に入れることで、教員側の『褒める』意識が上がります。

★項目を定期的に見直すことでマナーを防ぎます。（褒めてやる気をUP!が基本であることを忘れずに!）

☆家庭と連携して、グッドポイントの数を連絡帳に書き、ポイントがたまると家でご褒美がもらえる。

薬はじめてガイド

監修：中川の郷療育センター施設長 許斐 博史

児童生徒が飲んでいる薬ってどんな効果があるのだろう・・・？漠然と薬の名前は知っていても、効能まではわからない、ということはありませんか？

今回紹介するのは、発達障害の当事者が作った、発達障害のある方のためのチュートリアルブックです。初めて医療や支援を受ける時、どんなことが気になっているかなど、当事者の目線（主語が「私たち」）で書かれているので、自分を知ることに役立ちます。一問一答形式でわかりやすくなっているので、指導の際にも役立つかと思います。「薬はじめてガイド」で検索するとHPからパンフレットのPDFをダウンロードしたり、動画で内容を聞いたりすることができます。（無料）

相談カード（教員用） 記入日 令和 年 月 日

対象児童生徒 小・中・高 年 氏名（イニシャル）

1. どのようなご相談ですか？（○をつけてください）

- ①行動面について ②学習面について ③コミュニケーションについて ④運動面について
⑤家庭に関すること ⑥ その他（ ）

2. 困っていることは何ですか？

3. 今後どのような方法をご希望ですか？ ①情報提供 ②アドバイス ③ケース会 ④他校専門職との連携

⑤道具の工夫環境調整 ⑥その他（ ）

担任→相談支援係へ提出をお願いします。